

居場所

第8期生 樋口 優美

卒業まで数か月となった2012年1月中旬。入学からもう4年の月日が経とうとしているなんて、信じられない、というのが正直な気持ちです。小野ゼミで過ごした2年間を振り返ってみると、支えられてばかりの日々だったなあ…と感じます。先生、先輩、同期、後輩。うまくいかないときや悩んでいるときは、いつも誰かがそばにいてくれて、助けてくれました。2年間、支えられてばかりでしたが、果たして、私は誰かの役に立てたのでしょうか。何かしら貢献することはできたのでしょうか。

日々の活動、マケ論、入ゼミ、卒論執筆などすべての活動において、先生やゼミ生の皆に何度も何度も迷惑をかけてしまいましたが、小野ゼミという環境に身を置いて、様々なことを経験させてもらった中で、学んだことも多々ありました。適当でいい加減な性格の私が入ゼミ代表を務めていたからか、8期の皆はいつも率先して入ゼミの手助けをしてくれて、非常に助かっていました。皆も自分のことで精一杯なはずなのに、周囲に困っている人がいたら手を差し伸べることのできる心の強さ・優しさを、私も見習わなくてはなりません。また、私のことをバカにしながらも、最初から最後までつきっきりで卒論を指導して下さった菊盛さん。真夜中に添削をお願いしても、嫌な顔など一切せず、いつも丁寧な添削をして下さったり、的確なアドバイスをしてくださる菊盛さんのことを、実の姉のように慕っています(笑)。卒論執筆の合間に、千葉さん、パクさん、菊盛さん、黒沢と何度も飲みに行ったことは、一番の思い出です。またいつでも飲みに行きましょうね！そして、9期の皆は、入ゼミの活動を通して入会前から顔見知りの子も多かったため、皆のことを小野ゼミに迎え入れた時は、ただただ嬉しかったです。頼りない先輩でごめんね。でも、いつも慕ってくれる皆のことが可愛くて仕方ありませんでした。

最後に、こんなにも迷惑ばかりかける私を見捨てずに、常に熱心な指導をして下さった小野先生。先生には、いくら感謝してもしきれません。できの悪い私のことを、常に気にかけて下さったり、恋愛相談にも親身になってのって下さったり(笑)、優しく声をかけてくださる先生のことが、大好きです。私にとって小野ゼミは、温かく大切な居場所です。2年間、本当にありがとうございました。



「先生、卒論完成ですっ！」



8・9期入ゼミチーム（著者は先生の左隣）